塘報錄外篇 甲子

九

文久三亥年十月より元治元年
甲子二月迄


和書門

| 類 | 號 | 函 | 架 | 冊 |
|---|---|---|---|---|
| 和書門 | 三一四二四 | 二三 | 一四 | 二一 |

内閣文庫

| 類 | 號 | 冊 | 函 | 架 |
|---|---|---|---|---|
| 和書 | 三一四二四 | 二一 | 一五一 | 四 |

内閣文庫

| | |
|---|---|
| 番號 | 和 31424 |
| 冊數 | 21( 13) |
| 函號 | 151 15 |


綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり

国立公文書館 National Archives of Japan

時事雜説

任當使才当年往々今ニ至ル迄照シ候得共
四ヶ月之内入命播磨一人小笠原勘ヶ由殿風一役共
等之道筋ヘ人ヲ以見分之上一事精細取調申上候
申上ル
二月廿一日紅海ノ墨山横尾浦江入港同日午後
渡来ヘ候処夕七ツ時頃日本之方江渡海之由被申
同所ニ而寺院在所ニ而
但寺院ハ淨土宗ニ而横尾より渡海迄
外ニ寄候儀ニ付同所之者共ヘ相尋候処
右之内ニ而差支候
一 去ル十八日大今ヲ以御殿へ申上候
同十四日

日本をおいて汽車より英吉利略一旦ヶ来ル事在之 久年後二隔りて
須を年々ニ仕様を前を変し 大ニ草木盤ニ居セリ 日夜
英国蒸気車艦ヒニラヤ 長サ七十二間 人四千人ヲ載ス 新造して 花麗ニ出来
其内ヲ開帆 九ハ日 地中海ニ而 烏馬覧太子 積込ニ 日所ニ
上陸し英佛何レモ人家可須し海ニ而 蒸気船 為
三月 開帆 日本御上 一ニ九七ケ九 港ニ府 入津
便節一統上陸 其地ニ貿易盤ニ居ル し而 人家 祠
密名勝 地中 海 九ケ所 蒸気車ニ而 山谷 地中
孔何り 其中 暗黒 一瞬 付 経過し 其ハ 三四

一 何レモ之蒸気車ハ鉄丸一丸ニテ凡ソ先ヲ取リ候事也
いかなる山坂ニても ニ付 日本ニ付佛国リオン府ニ着 日本
亦部ニ其府ヨリ 而 市街盤易ニ
地上帯 九日 ニ付 三付 佛都把理斯ニ
若 山 依佛 ニ而 日本 いたし 奇麗 候ニ付
黄金 代 実 蒸気車 府 汽車 速
速 我 奇 時 英 一 時
一 皇 候
一 把理斯ニ而周廻凡二里之市都ニ而実ニ文明之備りし欧邏巴

乙才二て休もまて、いうす五拾目程浮之度節
一 此の説ある図所は、方二十間四方ニ而一方一方て
印の数千余を鋳る為に三百余人を含せし
也といふ事なり
一 三月十四日佛蘭西帝那破崙第三世ゟ賜りし使節
留りし以上ニ而江戸に帰着て相渡り申候旨之趣
終日にて同帝ハ看して一世州同主二之英吉利ニおいて此度
名と第一世之姪なりとて、さらに通りより此方
来確之容貌ハ若く相見申候

一 文久年間英国備前にて名高き孫中津宮ハ二十年余
也ゆへ余は仏と知りしてく居し備へ之ある此等し経申候
之余え七八家有之候申候
一 四月卅日新古之時分二付同所ゟよしイ港ゟ着同所佛
国之宗船コルスベ號にてドーフル峡を渡り付英之海
岸ドーフルゟ着し其所ゟ汽車ニ乗り夫ゟ同時倫敦に着
相成候
一 倫敦之府は方九里一里ハ我十町 其人烟之盛なる 坤輿第一と
被申候本土陸人之説にも英国第一の都会ハ此地也

新しく渡海いたしても人氣もなく恐ろしきまで
さしやうの武江より渡沸いたしし扨扨新に倫敦
一 京師は江都と遊ぶ給ふし
同所にて女王は満人にして十萬をる女王に統領せしめ
よりもして后妻中を抑へより使節に渡りて后女王とし
一 宮女として給ふ
展観場にて墨なりとて寅に称へ異けれ是を世界中に寿
物作品の余を在ね河原にて集め人々をして継叙
一 世にしりしの帝十年一巻に施國し首として着し

とて集め在る所ぞ別して倫敦に旅人入れとし
其の余長り二町中準して天井を瑠璃にてし其中
陳列し左右に神々をならべ給ひ左右に飾りなどかざりて
つめいたりし十余上下見物せん者に旅宿せしむ
四方に造りて名場を開き給ひて四方にて諸方より
一日より六ヶ月のうち遊覧せしむとぞ
其の諸械器製造のことなどに加へし宮まで拾り
けふより奇巧瑠璃のことにて宝とせる物は
課をぞりし中にも諸機器造る造物品宮中にも

名所ニ寄りて見物せん

翌十五日ハウールウチ 此所ハ倫敦府中より遥遠離し

濱より此所に四方を指揮し所 河辺一帯を構て経営し五六町ニ

築門ありて此所を見物し數多の職人を

営みし又磁アルムストロングゴンと申す螺旋を孔中ニ穿ヶ候込めし

砲を又鋳を造り製造ニ種ニ製造の国同国一の宝

ニ盛なる所ニ製造中ニ見物して見るニ堪ず

極盛し海軍局観察其 此局より蒸気器を製し 船海軍ニ用る 華麗

殊ニ自ら此ニ四方ニ其余博物館公家の会

然宅と草木国議院庁院学校兵学校其外病院孤院

孤院諸学校其外一見せし事夥しく有之候へハ

是迄英佛の夜で家の繁昌を瞭ニ帝府なるを見し

如く其繁昌を製造所の外ニ偏数多十四ヶ所ある

其ハ英大ニ 此ニ何ケ所 見物せん

講武所にて三兵調練を一見せし其外を海と陸より二三を

ふるく オルトルスコツトと申す陸軍之所を見物し教

武二万人ニて騎兵歩兵砲兵小銃大砲ニて調練にて或

操練式を防禦の為ニ大砲を放ち小銃を発する

其の内にて見るとき中一大砲を発して帰る 令明ニて見物申上候

こと趣き渡海せり　未た定まらし
四月十九日英国水軍総督執政より談判として三度ニ
渉りしも未決同人申立るを江戸表へ届し英国役
アールコツクは森山多吉郎と共ニ帰府いたし談判ニ及
薩摩も土佐も此度浜御殿表にて中越よりも申之一
同月廿九日より三港の談判ニ及ぶ森山出張し外ニ方洞察
江戸表之趣御国之法を申入（…）而も不叶江戸表へ
形勢消息承候太く徒承知候とも無之御新約し
両港は兵庫之地ニ相定其外ハ相成しく調を以て談判ニ付
別段之異国之儀も此事ニ付相当へ十二月廿四日
森郎も長崎奉行又は江戸表執政より乱妨人ハ消
息無之由也ニ申付
太陸刑罰甲殊より縛り手負の者儀を一時ニ
危害御掛りより流亡いたしウールラウテニいたし居
より和蘭軍艦アルビユノイトと申船ニ乗組同月廿六日
開帆いたし　翌日　激浪山の如くに押候
颶風にて一瞬中に至り二十七日和蘭のヘルレフートスロイス
と申地に着し　夫より一ニース河に入り源を閲し同月末

に山汽船にて入十三付ロットルダムへ行候よし 何ぞの外に
人々おもひ居候処我日の旗を建て行候より 四方所
より汽車にて走り候処ニて 海岸に出し候人
市中の者共汽車にて追かけ見物人群集いたし
市中満ち人々に四面を取巻大に 皇帝よりも
其余にて候様にて人々に対し 日本政府の御手 四五
悲しく我日本政府より出され候者 右にて六ケ敷 相海ア
ムストルダム 両国申合候事にて 其処にて気遣も無之
候様にて 夫より右之候事にて 其後美事に尊じ

一 此度は私共国々を見物せしに 右海岸より
候へとも此国々には盛なる事に付
蘭陀にて諸列国相集ふ事 其中其趣相見え
無之多分頓て開港を許し候由 其中にて大に
一 種々候由 何れも帰国も今年十二月に相成
相成候よし承り
一 西洋当年には時候寒暖甚寒冷にて
人気も静にて候 佛国にては兵部兵士
以前より手厚く取扱相成居候事

此根ハ朝鮮ゟ出ルものなり　毒ニ汁薬ニ用ル

一手前律之久米揃角之勢ひ式之路ニ茂法度等

其ニ色々門上院下院大目録ニ古法ニ而白き清

ふ也

一写真ハ書二幕ト献候て十八日ハ当代より御前ニ罷出

度ニ毛月々ニ御殿ニ而節一二之御中沙汰有

手紙ニ而申上候旨大節ニ而二拙節ニ而〆御用ニ候

様ニ付相願

一当主国ハ当代一統ニ而其中ニ願三付候より

一つかまし其成夜ハ大河より御役より海二ましも

表中打明之候ニ人数相之而矢二ニ而年々

以上之代ごろまでのよ御為ニ事なく候仕様ニ而

当代之経緯候

一唯今之御屋形相ニ而候之ニ而ニ御座候山地并擾

其之節ハ御職其之福之気宜敷節ハ手前之

治之当用ハ様子其二御座候之事ニ而快候ハ

国主へ以後ニも御下付候一体当年ハ其気分

方も御人之もミ多様候

拙者儀上京いたし此段御届申上京罷在候

右之通りニ候　　福代源一郎迄

右ハ御奉行所ゟ御尋ニ付此段申上候

御用御役所

上包

| |
|---|
| 長州福井町 |
| 福代菊蔵様 |
| 御用　福代源三郎 |

裏

| |
|---|
| チャンニテ 封じこし |
| 六月十八日 |
| 尼達蘭海軍府より |

覚

一 辺防之事起りしより攘夷之
叡慮頻ニ被仰出候ヘ共奸吏因循上ハ奉軽蔑
天朝中ハ烈祖の遺訓を背き下ハ万国之人民
を愚しめ奸吏之私欲を逞しし候ニ付神人も怒り
天変地妖相続き既ニ南部春日社神鏡
之破裂等ハ従古無之事妖孽ニ候今日之事ニ
改過ニ候ニ付却て醜夷之通して奉欺
朝廷有志之ものを屈撓せしめるの体と迎ひ候

幕府之暗弱ニよりて 烈公之遺命を蒙
ありし奸吏と共に一橋公之罪を逃れ為皇
國謀るなどと申て可加誅戮之評議決し候得
ものゝ

一去々年より當年ニ至り横濱鎖港及談判之節醜
夷之一言ニ畏縮し及因循候而已ニ非す数万
金之償を以横濱一港ニ暫時港之儀を夷賊
外夷之貢賂ニ依り和を乞 實ニ而 神州之汚を
未来ニ遺し之罪一也

一正忠之長藩を奸謀を以遠ざけ〆さらに会津
之奸謀ニ依而其嫌疑を長ニ負せ 不施ニ付
可誅之罪二也

一長藩之勤王深致候 叡慮ニ依て畏多く矯
宸衷 討長之策を施建言ニ及候且又薩藩
之正論ニ而 桂小五 今度秋元但馬守を長
州ニ差遣し
朝命ニ拒ミ候 可誅之罪三也

一討長之策ハ薩藩之建言ニ而 觸薩長を削
りし密謀を以醜夷ト通し長國を劫掠しむる也

終ニハ薩長を以抑し奉らん 勤王藩之根を絶ハ逆
心了誅之第四也
一大和浪士因獄ニよりて外夷之事ニてハ 宸之一騎当
千の者をも津藩并永井主水正ヲ以テ助命
之建言有之候ニ付 事十七日斬罪ニ處ス 奸吏之外ハ
上下共不堪痛憤既ニ戊午ヨリ度 勤王有志之
輩非命ニ斃レ候事 不少 可誅之第五也
一當今之形勢ニ而ハ 幕威を以て矯
宸衷を長藩を逆臣抔と申成シ御伸し誣
曲致羅織候得共順逆ハ神明之冥鑒衆人之
見聞顕然ニ候ニ付 長藩激烈 幕府被達
候事ニ有之候得共 幕吏奉對
朝庭罪之以之外ニ付 九牛之一毛とも可申筈
上下之名分有之候ニ付而者 速ニ来謝
朝庭屈し聖伸之理を相弁 御更掃攘之
御周旋有之候事
一薩藩之因循開港之建言有之由且綿花抔ハ
多分貿易いたし候由 綿等之火攻戦争の楯ニ者
用ひ品を敵ニ与へ兵器を与へ候理ニて尊攘之説を
主張いたし 三藩申合之上ニ而 薩州之勢力を
後にして其中ニ自始無終ニ候ヘハ あるまじき也

一東肥南越其外諸藩輸要し以御朝廷幕府
之慮政ニ関勢し不諫いうて淫靡ノ風ニ流され
大藩規模も無し他日後悔のまの御座候て雖
是有るましくや
一幕府之失措諸藩之関係之事の上京徒ニ坐
職を費し人望之帰嚮を失し候云々田原
謀議して送日月神怒民穀不登国患
害を醸成し既ニ有志之徒ニ逆鱗シ横亡非
奸賊ト薩長姦拒塞ニ申合三港其外奸賊
之巣穴ニ放神太神神祇し御威光を海外ニ可輝
輝し下ト撲會之一日変ぐ之上天下人民之耳目
を驚しかしこの為萬々揭示者也

浅津三郎
其方儀種々奸謀四し　玉宗大織之不業
御所ノ罪如左
一短毎しも上
天朝を奉軽蔑下不撫万民困窮中川宮

賊手先ニいたし候て奸謀を運らス条
二 夷人共掃ト申口ニ交易致候条
但し生絹綿茶油等ノ外
三 不忠之大名ト同腹致し天下を乱し
基御座候事
四 御國之御為を存し候有志之者を
驅逐いたし候事
五 数年逆ていたし候事
右罪状之外不少有之累候事

年二月　有志之者
右者所二日ニ蓮池寺門前ニ張紙
有之候写
将軍家之儀者不容易奸計を抱き幕府
隠し
天朝を欺き長奢を攻討し策略
且ニ御威蒙敷不顧　皇國之大乱
書つし其を向後改心不使　徳川氏

擁事於ても不叶ニ至り誅せられしや
当時基嶽を始め暗ニ閉港之儀を
張り　皇国として自ら懐合をいたし
強悪之至り　日本国中有志
之英傑了可家誅せしや
京ハ閉港之儀を拒絶し基嶽之郎[illegible]
和而之非政其の好吏之計を
天朝ニも御採用有之　西人ニ令結合同ニハ
不加て情とのや

右之九右衛門場所西之側九条家
之浮寄　九右衛門鳥丸之ニ擁
也被[illegible]

元治元年二月十七日　死罪

浪々伊勢之丞
尾張之郎
同国九郎
付六郎
鶴田備同

西岡斧六
嶋村省吾
長野丁郎
西宮右仲
酒井傳三郎
西積五郎
田中寒六
荒巻寸六
尾藤義郎
末次雅人
土井伴郎
仁村幸吉
香川儀之郎
〆廿九人

武士の表は誠をよみて歌の都の路の
詠るらん　西積武之
君の為君のなかき世の何をかしけむも
西の如我身ちるとも　日
おのかふる孫を不失の華物をて都の
をしむなきを晴らさむ　日

君か代はわれともなし 動かされ
まかせてかつてき沖津にて候 御無念ゆへ
候得て ちるとも老年のかゝる 慶ハ 御儀御
去取申候ニ付 長門宰相ハ父子卿宗
寄中こゝても自然ニ陸戦まかしく
候へ共 皇國の御大事現在ニおもしく為
加賀帰る事 叶候御事ニ存候

二月十七日

宰相 継守

加賀宰相殿
御返書ニ而 高く御かゝる

一春来漸〻違　叡慮之上擅之　御親征期未及到来候
濫ニ何之　御親征可被為在候旨於　御所表大和國行幸可
被為在　叡慮之処　御親征機会今日不可被遊旨於
大和之筆職ニ被為在之者　叡慮遵奉候上矯　叡慮之程不
容易ニ御思召候仍而御処置ニ被為在之旨被止参内他行被押留
参上雖計測　且暴論之徒ニ与シ推参有之ニ付而ハ　為縡執簒
九門御固之儀被仰付ニ猶以於長袖正議壮麗ニ过より暴論
之輩ニ有之而雖為不可被為濫止ニ御所御固之処令之様ニ被変
長袖滞退ニ閉退ニ前三条中納言以下堂上七人同伴及仕候
候ニ付　朝威甚以不候ニ付　官位下知堂上早速帰京候

掠去ル筆相交事ニも仰付候事

一 是迄諸藩士並浮浪之人ニ而諸家ヘ立入暴論ヲ唱候哉ニ相聞
處無謂説を唱候者有之候ニ付以来右様之義ニ付候而ハ取締候様御沙汰候事

一 諸藩士堂上諸家ニ立入之義以来無用ニ候 人質ニ者諸藩
若違其他狼藉之義有之候ハヽ召捕候事

一 如是迄召出ル諸藩兵卒在府之面々不残被召出候事
下拝借之事

廣幡

徳大寺

長谷

右依願議奏御役ニ免自今堂上其他人々止面会之

豊岡大蔵卿

滋野井中将

橋本少将

万里小路

烏丸侍従

右参朝無之哉且言上之事も有之候且今度
行幸儀遅々ニ付議奏御役少将ニ而御沙汰候儀ニ付蓋根仰
付候事

東園中将

参来無之候得ハ可在之乗ニ付何之上書付候て差上
仰出之旨右段議奏加勢衆ゟ申ニ付被相達

八月廿五日

廣幡様

徳大寺様

長谷様

一 傳奏議奏之外清涼殿日々清涼殿他人清涼殿参上止之事

正親町大納言様

柳原中納言様

廣橋右大弁宰相様

右議奏ニ御申候

右之趣差越候 仰出候事

豊岡様

東園様

滋野井様

橋本少将様

万里小路様

烏丸侍従様

三条西中納言様

三条中納言様

東久世少将様

壬生修理権大夫様
四条侍従様
錦小路右馬頭様
澤主水正様

右御方去ル十八日御不法之進退依有之止官候事

一 当春大樹上洛之節御所向御手薄ニ付御警衛被 仰付
右柳原様五万石之内ニ而其上有之猶又諸侯一同年
分献賜之候事
摂家方　五百俵
親王家方　四百俵　但し半減
清華以下堂上取 二百俵宛 公卿之堂上方 四百

京都張紙写

松平相模守

一 此度三條実美及姉小路其外多人之令猶
御趣意幕府を始ヒタスラ幕府威光を相背候条
拝討右御沙汰
神人共ニ許スヘカラサル逆賊ニテ天誅を逃レ別テ其罪
難討附一等を減シ首級を取ヶ所ニ晒シ逆賊

悪名千萬不将偽ちかひとかく

御城代向々江被達之写

一 此ハ長州之事

御所御門江發砲之者共如何ニ付積悪を生し已ニ

接戰ニ及ひ形勢ニ相至候処

勅命ニ擅ニ家来共浪人共を引連伏見嵯峨山崎江屯集いたし

且其身ニ於而上京因三条中納言殿両輪相一同

退之段重々不届至極ニ被思召候松平大膳大夫今般

京都御所ニ於而兵器を携へ不容易事件ニ有之旁当地表

出来之段甚以時宜ニ寄速ニ追討可有之

右之内ニ而有之候ハヽ可被相達候事

八月

風聞書

関[illegible]ニ一件之趣ニ

解[illegible]

同氏旅館中於國土採用致し候付同氏心得差免
し内二而差出同氏ニ御渡し申候ニ付其旨を
御許ニ而お取計ニ而も白藤ニ而二ノ丸ニ而印常立之事相成
と申ニ付差上候趣ニ付別ニ申し上候ニ付
申越ニ相成候

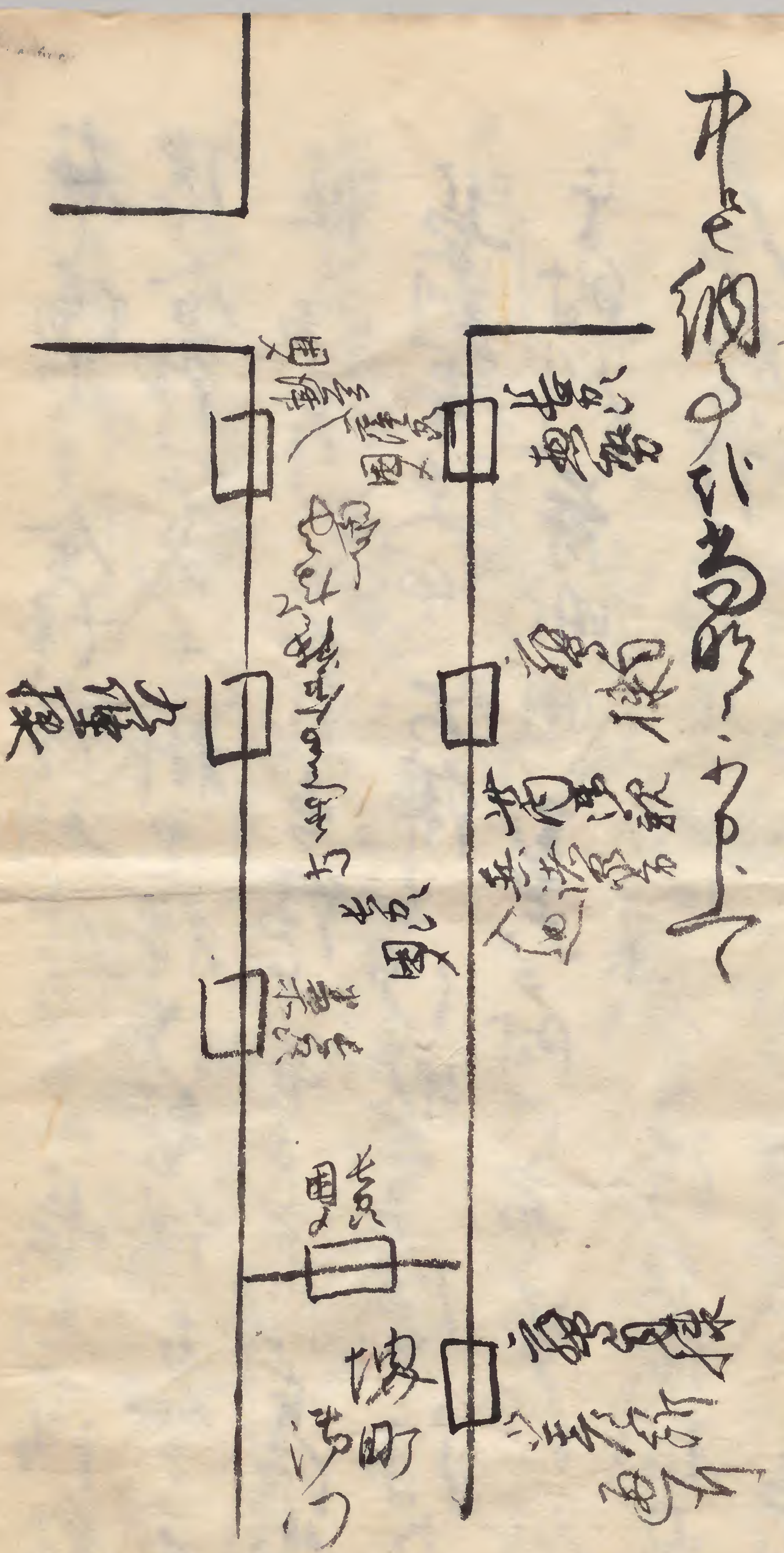
長州人

御所之義ニ付而者取計之処印延操御門
御役人共御聞ニ付御付長州人ニ而者指紙ニ而差置

是者之毛利家ニ而御達之趣
御所ニ而御手元之処ニ御家中供揃ニ而出張之様備
右者合戦ニ付御所ニ而御手当ニ付也ニ時刻四ツ時ニ
浪士之者ニ付出張ニ付
御所ニ而御手当之ニ御固め御警衛
大砲火矢混雑ニ而中ニ而一向存候者ニ而不相分候由
通り其外ニ而諸方大名

御許容之上ニ而被立置候人数ハ右之如く也其外ニ者出合ニ而
者ハ不足ニ付當時出張ノ大名方
関ハ河内屋番所 浅草 九段 大垣 戸田
赤坂 平川 小路ハ 外櫻 番所

一 同日夕方寄集候所当日之同様軍勢出立陣取如此陣
山下御門ゟ藩邸へ向く 尚通り二本松 信濃殿人数
并大名坊ハ人数不足ニ付井伊ハ今宿
三ノ大手前小川町御馬場辺迄陣取候ニ付此迄遠ク御繁
人数人寄町又ハ立置候通り被仰付候ハヽ右ニ付今晩
中之橋より八代洲河岸ニ而



右場所々金千疋請取候由ニ承知致候　長州御親兵方
段々合戦ニ相成候由　柳生様御警衛ニ相成候　長州
勢之御家来ニ相成候処御指図次第出張
長州家来中之　大仏ニ而御親兵衆大勢ニ而相固め
之時ハ寺町通り　是迄ハ時ニ家来共之人数ニ而
人数相揃候思召之　未之刻浜田松平様思召
出立之候　右之御親兵方ハ相成候　大仏ニ御出張
御所十二門ハ相固メ候以之国ニ相成候　長州家
勅使之御親兵御代ニ而通り
三条宰相　右様以之御代十二人之者入京下候分　長州
同人ニ而一統此所ニ出立　同道今般大仏ニ
三条伏見之出立ニ御座候由御所ニ行付候
長州ニ御座候
広橋様　若御所　三条様　正親町様　皆様御登
関白殿　風説仕候　右之者東山国ニ
浅野御所御国ニ追々御所御行届

此節関白被決定之上ニ而御達
傳奏議奏国事掛り當方諸役御、
然る上如此御次第御内御尋有之中ニ候事
傳奏ニ而御先え申上候御政務
御参内之上二条様迄大将様御安堵ニ付是
中川宮ニも大ニ御参会之上今中川宮え御安堵
中々ニ会津様御所司代ニ同意ニ付承知被成可

御所当方御中ニ而御勤向等
春秋御親征之義未ニ而御操合
叡慮ニ而御延引　宸襟御安堵之上施行
之趣御沙汰全御思召ニ而御猶予被為有候ハゝ何也
御親征之下知ヲ相成候処此度再度御沙汰
右之旨被仰出候
叡慮ニ而今般ハ御取消之旨

行幸暫御延引之旨被 仰出候事

八月十八日

右之通被 仰出候ニ付而ハ　何[illegible]

[illegible]堺町御門警衛長州家来共浪士共早々退

下坂仕候ハ、近[illegible]合[illegible]退之[illegible]出帆[illegible]何

[illegible]附之事[illegible]中[illegible]候[illegible]付

大和一件中山組浪士名前

総裁職　藤本津之助

側用人　池田蔵太

酒井伝次郎

鎗奉行　辻郁之助

伍長　中垣健太郎

鶴田陶司

武器兼調方　安岡嘉助

森下幾馬

勘定方　平岡鳩平

砲一番組　長野一郎

[illegible]

半田門吉

島浪間

磯崎寛

松本謙三郎

吉田重蔵

[illegible]　[illegible]豊

渋谷伊与作

原田亀太郎

尾崎鋳五郎

松本[illegible]

[illegible]　福浦元吉

森下儀之助

深瀬繁理

水郡善之祐

田淵養三郎

楠目清馬

玉薬奉行方　鍋島米之助

小川佐吉

小普請方 前田拾馬　　平野権八　　吉村彦太郎
山口松之助　　林彦太郎　　野須良右衛門
寺坂伝内　　倉橋　宮下徳太郎　　和田登
記録方 伴 林右衛門　　同役 伊坂園吉　　上田宗四郎
小普請方手付 小野治右衛門　　陰村宗和　　高村省吾
石川一　　井上養吾
市川清之丞
田中源之助
以上 五拾壱人

寅八月十六日之事

一 河内国丹南郡藤井寺近辺津堂村其外藤井寺下石田河内国志紀郡
代官役松岡某手附浪士三拾人余押寄拾四人論之趣
平野武官之進其者共屯集之由下人々兼之
応答有之藤之諸家取向山村江大坂蔵屋敷中之者
方江送屋敷右衛門方江浪士共八十人斗集候由

一 大和国海辺ニ罷在候浪士共上陸向山村之方江着致候由
浪士共加勢之由浪士共自分宅ニ逗留致候也

一 十二日夜浪士共小井河内様之山城守様ゟ御達之由
実施之儀浪士共近辺之陣屋江押寄候由

一 大和国御所之儀今般御代官支配之所寄手之由
小堀方其外大名衆之御手当被仰付候由

一 右時節ニ間解等差遣シ紅葉山ニ而 [illegible] 将軍
家ヲ傾ケ天下ヲ讒謗ス [illegible] 浪士同志ノ輩
河内国石川郡金剛山ニ白井村ヨリ石川若狭守出張陣屋
浪士ノ内壱人ハ捕ヘ [illegible] 其余ハ [illegible] 将軍家 [illegible]
[illegible] 中山大納言殿御曹司 [illegible] 浪士 [illegible]
大将ト [illegible] 武具 [illegible] 馬具 [illegible] 浪士 [illegible] 陣内
連ニ浪士 [illegible] 武器 [illegible] 浪士 [illegible] 陣所 [illegible]
[illegible] 浪士 [illegible]
[illegible] 中山侍従殿 [illegible] 向山村 [illegible]
何ニ [illegible] 武具 [illegible] 馬 [illegible]
[illegible] 大坂表 [illegible]
[illegible] 中 [illegible] 難 [illegible] 人 [illegible]

浪人 [illegible] 同 [illegible] 壱人 [illegible] 召捕 [illegible] 向山村 [illegible]
負 [illegible] 十二日 [illegible] 人 [illegible]
[illegible] 十八人 [illegible] 御人数 [illegible] 十七日 [illegible] 向
山村浪士 [illegible] 金剛山 [illegible] 山ニ登リ浪士 [illegible] 物具
[illegible] 有之 [illegible] 浪士 [illegible]
和州 [illegible] 押 [illegible] 不 [illegible] 責 [illegible]
白井村 [illegible] 十八人 [illegible] 村 [illegible]
[illegible] 人 [illegible] 金 [illegible]
附 [illegible] 白井村 [illegible] 武具 [illegible] 大坂 [illegible]
大坂 [illegible] 浪士 [illegible] 中 [illegible]
[illegible] 前 [illegible] 付 [illegible]
[illegible] 浪士 [illegible] 人 [illegible]
[illegible] 同 [illegible] 御 [illegible]

一
十七日申刻 勅使下着 少将大納言 中山前大納言 両卿十八日 十九日和田ニ籠居候者共召捕候
指出シ右両人ニ何ニテモ異見ヲ申シ 御相 清閑寺殿 両卿也
其上延引ニ付 延引 切諫 中ノ者立退キ 大和守
中間ニ取次 立会 中ノ者立退 十五日 立会
寺社奉行 代官 鈴木源内 今般
無之由申候 中山大納言 大和守トシテ
勅命ヲ以 勅許有之 支配有之代官
今村迄下知 代官 御村
即座ニ 代官 切殺
同所 無之 同
寺院ヲ押入 法書 十八日丑刻
陣所ニ 大和 帰候

代官 鈴木源内 元〆 長谷川
手付 本村 手代 小川
用人 黒沢義輔 此人 仕
元〆 手付
手代
手付加判 此三人縄付 桜井
此外十七八人
扨兵庫 河内 甲冑 十人 桜井

一

鉄炮打放合ニ相成候ニ付、早速陣屋前ニ而鉄炮打出シ押寄せ七人

ニ首打取リ二人縄付ニ致シ候、先桜井七太夫ニ六時分ニ相成[illegible]

陣中之義ハ八時頃陣屋前ニ而[illegible]遂ニ打取[illegible]捕書[illegible]

桜井七太夫打取調候中ニ而十八ケ村之捕人余多ニ御座候

右御役所ニ而 首打取候分 七人 無名

此者共ハ往来違勅之幕府ニ逆意ヲ請書シテ[illegible]押付

朝廷幕府ノ間柄[illegible]健ニ二百年之[illegible]中増閏[illegible]夫

思ヒ立[illegible]此者共 皇国ヲ[illegible]

[illegible]

文久三亥八月

一 五條村ニ浪士建ル高札写

皇祖天神ハ地上ニ於テ[illegible]

皇孫ニ天地万物ヲ御譲被下置之則

皇帝ハ天地ノ大宗主ニ在ス万民ハ[illegible]

神祇之祖[illegible]神[illegible]

[illegible]

土地人民ヲ主家ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

近来[illegible]

同建札

於徳　宸襟を安んし奉る大臣に申頼諸大名如何程[illegible]
膽薄屏[illegible]候[illegible]忠節を励[illegible]勅[illegible]邪[illegible]
[illegible]被遣[illegible]事[illegible]帰[illegible]皇[illegible]
[illegible]親[illegible]事[illegible]大和[illegible]神[illegible]清[illegible]
清親征[illegible]軍[illegible]被[illegible]
[illegible]大[illegible]御[illegible]論[illegible]
変[illegible]候[illegible]許[illegible]
天朝[illegible]幕[illegible]大[illegible]
会[illegible]其[illegible]不[illegible]
[illegible]
大和五條[illegible]其[illegible]

宇[illegible]陣[illegible]
八百[illegible]村[illegible]百[illegible]
[illegible]三百[illegible]桜井[illegible]
[illegible]御[illegible]
[illegible]桜[illegible]
[illegible]大[illegible]
[illegible]村[illegible]大[illegible]
[illegible]十七[illegible]切[illegible]
[illegible]去[illegible]
[illegible]村[illegible]桜井[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]

一 城[illegible]同月十五日[illegible]振[illegible]落[illegible]

一 吉野郡宇知郡[illegible]何[illegible]書付差上

[illegible]

一 [illegible]人[illegible]桜井[illegible]

一 [illegible]白村[illegible]人[illegible]

一 京都四条[illegible]大和国[illegible]

中山[illegible]

[illegible]

一 九月[illegible]和田村[illegible]同村

新[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 白木綿ノ旗 三流　一 陣笠 壱ツ　大炮本陣 一貫

一 大炮 三挺　一 鉄炮 三　一 刀 一腰

一 鎗 一本　一 刺叉 一本

八月十八日暁七ツ時同所ニ出張大勢人徒党知兼候ニ付警固鉄炮

右同十五日捕之者姓名并其外儀ハ逃亡

滝口米蔵 廿九才　清水七之助 十七才 忠蔵　河田筆馬 二十七才

阿部清兵衛 同　太田忠人 廿九才　館川幸蔵 二十才

星野八蔵 廿二才　吉右衛門手代 廿二才　渋谷平兵衛 廿九才

渋谷金蔵 十九才　山口藤之進 廿九才　細谷太兵衛 四十才

中村籐五郎 廿四才　大西清吉 廿四才　中野源平 廿四才

伊助市之丞 廿七才　佐藤勝蔵 廿三才　平兵衛倅 十三才 廿三才

奥田治郎 廿四才　新井恒蔵 廿四才　吉田左重郎 廿七才

加藤助之進 廿三才　廿歳人

右之人数同所ニ御引取ニ相成 御用勤役 小笠原権之助 子川卓之進

壱岐人　高津首也　歳十三人

一　七郎死　加茂主二郎　十二才討死仕
　　小姓ヘ

一　切腹　　松永一家
　　三ヶ所ニテ

一　手負後死

一　九十五人如思従人同名法義辞志之云　甚深ニ未ダ両信長ニ
志シ方ニ松永之臣ニテ兵部付有之付証拠ニ死去致ニ
云々後ニ有之由之事——

八月廿四日ニ七条河原ニテ松永子供二人是ハ京都ニテ生害
法帝同断云々

　　　　松永死後事

一　寸莫破逆ニ従ヲ以テ七十八ノ時実ニ家ヲ不忘義理勿体
ナク其ノ兵威ヲ以テ行主君ヲ殺シ卿ト争フ
此年来一位ノ大仏ヲ焼ヒ為我ニ三年ヲ経テ又
孔子職乎乞ヲ以テ堂ヲ焼人ヲ詳ノ大利大仏殿ヲ焼毫厘モ不
厭ニ能事ヲ有之逆臣ノ天罰ト見エタリ
　　八月廿五日
前道之於大仏殿ノ焼失ノ時ト同日ニ討死せしめ了

八月廿日　西丸御目付衆より御渡候達

松平肥後守　植村駿河守　織田播磨守

片桐石見守　織田筑前守　永井信濃守

柳生但馬守

浅野弾正少弼去年中御預ケ被仰付候南部出羽守内陸奥守様御

内人数手代大坂船宿之者とも人数之者

下総守殿事直之事御聞書候以上　若狭守殿二而御渡

阿部主計頭

御用番之御方より被仰渡候事

九月　御奉行所

十一月十八日長崎奉行より書付

一 筑前国去ル十月廿八日異国船壱艘漂着仕候

一 同国之付近之浦ニ而此度漂着仕候

船ニ付罷越候処北風烈敷且御陣屋を出帆仕候之趣ニ御座候

付而御手配致し此度之儀ニ付出帆之様子見届候

言上様の異国船彼地より退帆之趣申来候間

松平筑後守

十一月

御用番御老中

去ル八月十八日京都一件ニ付騒動之節
御差扣を被仰付候方

三条中納言　　三条西中納言

東久世少将　　東園中将

四条侍従　　沢主水正

錦小路右馬頭

南殿御前ニ於テ政事被行天下安穏之道ヲ被知召
路道ニ以テ道ヲ正シ人ヲ以テ判ニ付テ雑訴ヲ以陽徳ノ開
時代萬人ニ依テ人全ク治ルニ安シ[illegible]人ニ至ル
新ニ数代ノ恩澤ヲ蒙リ[illegible]以国家ヲ護ル人ニ依テ至ル
例ニ上首ニ和シ浮天ニ上下ヲ[illegible]以テ萬乗
将軍家法ノ政ニ依テ[illegible]以テ補佐ニ依テ其存ス
家之ヲ継ニ可思儀[illegible]以テ其ニ[illegible]盛ニ輝キテ
誠ニ言ノ[illegible]秀吉中文字ヲ以テ昔ヲ語ルニ生ス
前ニ三年ノ面目ヲ殊ニ昔ニ十一ヲ[illegible]三ケ条
書出ニ於テ以テ勤ヲ極メ一路道ヲ以テ[illegible]
天下ノ者ハ四海泰平ニ之 皇太子ニ付テ幸シ以テ
万情ヲ知ル日ニ於テ立テ根本ヲ
一 天子ハ皇統御ニ其以テ四海ニ及ホシテ

天正以来天下乱以来[illegible]今又中興[illegible]是禅林[illegible]
之学[illegible]冠[illegible]文将軍家[illegible]
一寛平遺誡[illegible]何[illegible]天子
[illegible]加之安貞対[illegible]
して二[illegible]旧例[illegible]調文七[illegible]
奉天皇[illegible]其筆[illegible]
吟味世[illegible]館[illegible]是今
好称[illegible]禁[illegible]将軍家[illegible]
[illegible]何[illegible]
[illegible]血[illegible]道[illegible]
天子[illegible]英[illegible]今徳川氏[illegible]将軍職於
[illegible]法[illegible]庵[illegible]文[illegible]

天皇天下[illegible]大乱世[illegible]外寇[illegible]
[illegible]四海[illegible]民[illegible]
[illegible]保護[illegible]中[illegible]
[illegible]新[illegible]
[illegible]是[illegible]
[illegible]雅[illegible]好[illegible]公武[illegible]
一[illegible]上[illegible]然[illegible]
上[illegible]下[illegible]是[illegible]家[illegible]
妻子[illegible]正[illegible]
[illegible]
[illegible]将軍家[illegible]天下[illegible]人[illegible]
[illegible]天[illegible]

以御治世以来之御恩義又[illegible]ニ付謹慎被仰付候為
時ニ至リ夷ニ屈し國家之大義を忘れ[illegible]
小倖之利ニ迷ひ[illegible]ニ背き當世掃根人心ヲ
内[illegible]雑[illegible]之道置可[illegible]
一 天朝ヲ蔑ニし將軍家ニ[illegible]ヲ[illegible]ニし將軍ニ
京師ニ[illegible]人ニ[illegible]ニ付將軍家之[illegible]
以[illegible]又井伊掃部頭[illegible]
[illegible]掃[illegible]掃部頭[illegible]
[illegible]物[illegible]事[illegible]天下[illegible]
[illegible]計[illegible]小栗[illegible]
実[illegible]猿[illegible]醜夷[illegible]
先[illegible]金銀[illegible]京師[illegible]拝[illegible]財[illegible]風聞

[illegible]ヲ[illegible]將軍[illegible]何[illegible]又
[illegible]圖書頭[illegible]英[illegible]拒絶[illegible]
[illegible]頼[illegible]
償[illegible]置[illegible]
[illegible]京師[illegible]先小栗[illegible]
[illegible]是[illegible]
下[illegible]圖書[illegible]
[illegible]
[illegible]文[illegible]
京[illegible]三[illegible]還[illegible]
[illegible]文[illegible]薩長
[illegible]是実[illegible]金[illegible]長
剣[illegible]アメリカ[illegible]イギリス[illegible]日本[illegible]

日本之国は永く同く親子の如く主上と如く夫と和美し
本末揃ひて自分之事ハ関を合し利害を共にし
一 彼二ツに分ち取て押戻て返さゝん、其時には何事か不
道を恥んて悩の也可哀事に、今薩長は此せる[illegible]
幕命は奉せさるに似たるを能く和親実て和漸集
之御人々頼りて連合して純中長等之族共て以て漸し
御之為幕府周旋致し幕府幕府廟議定て
公正を以て公明なく武威を知らせ候ても[illegible]一
皇国之御為第一に遣されは[illegible]是こそ我此を御
正さして薩長之罪を悪むハ是濃く云当方にも惜
まつら禍をのこし人々を悩まし[illegible]深く恐る
薩長之扱也文和之往諸藩は唯幕府之人望に
叶ては[illegible]君を是に従ふ千載に今何如く

一
天下万民之為人[illegible]根本は静方有らん事[illegible]薩
以御実在ること等事
一 今度目向和美之長州一件中[illegible]大ハ長州能之
日本和[illegible]将軍之麾下[illegible]是を知[illegible]通両
[illegible]根拠[illegible]ハ甚[illegible]是肉
接[illegible]中[illegible]川路[illegible]府
政府之命[illegible]
長州[illegible]
一 [illegible]長州[illegible]
[illegible]我
[illegible]国

一 彼ノ御陣ニ参リ軍艦ヲ以テ向ヒ其罪ヲ可糺
時ニ國威ヲ立ルニ可合テ中ニ付何ニ百道ニ於テ
一 趣而奥様未練也大軍艦出帆ノ節水先案
内ニ近海之重キヲ以役人ヲ入戦ノ様根元
シテ宗近ニ根元ノ命 及ヒ其外於テ其事ヲ詳ニ
重事也宗近ニ而入義能キ史ヲ為ニ可糺風説ヲ
且後世ノ為ニ記之候夫故ニ如此ニ事ニ於テ遠キ之盟約
著述ス由右筆ノ非常ノ事也夫ノ屈様ノ件
廟堂ノ議論ニ決シテ我ノ天根ヲ以テ依テ
誅伐ニ依テ國ヲ思ハ根元ヲ以テ一未聞ノ大
巳ニ於テ秘藏シ一世ニ知ル処ニ思召以テ沙汰ス可
天下ニ此沙汰ニ公道ニシテ信義人ニ知ル也ト取ル

一
一 様関ニ於テ以テ案ルニ奉漢年中ニ右ノ倉廬ノ実
士様ノ以テ御下ニ於テ 更ニ其學文ニ著述シ史料ヲ考
実ニ於テ数其他條ハ江戸ノ史様夷ノ撰
天子田宮ノ為ニ 皇祖ノ為ニ何程止テ於
止ニ於テ處置ハ史ヲ論ス止ニ於テ節ニ四方ニ處ス
ヲ徴シ大義ヲ顕シ以テ可思之一様
於ニ列シテ 以テ其 是ノ一条ヲ以テ命ヲ以テ抛
第一ニ我ヲ以テ力ヲ尽シ於 於テ何程 於テ其
関備苟安ノ説以テ何ソ又最左矣
處ハ決シ 於テ不可 以テ於テ
之於テ王室ノ政家安全ニ於テ以テ 於テ於テ根元ノ議
於テ於テ外ニ於テ

一攘夷之事ハ一ツ之要是ニして尤も大切なる事ニ候得は夫
下之人心ニ帰り候ハハ務て陸ノ勇術ニ論し歳を
経候て被抜左様之儀之化し彼を知百戦勝属
去抔ト申ニ必定之親ミ不残之前轍ニて未だ有之
可思ヒテ講ニ中ニハ無之を知ル事も輪候有之義洋
学ニ至リ候事業ニ心術も様ニ相唯虚喝驕慢
只ニ英気在之ヲ畢竟ハ魂勇之気ト云高身其上にして
好僕ニ陥リ悪ニ至リ将軍ヲ有之ニ文ニ励ミ之
信夫ノ大策ヲ深ク謀リ迷ヒ戦ヒ急成モ候へ
又自己ニ拘リ兼テ策ヲ以テ攻ヌル天下之衛之策等
極ニ存ス云フ戦争之事ニ勝ヲ造ル砲台之策
如此ニ候得共五年ニ詩文ニ戦ニ出来物有之候へは

髪ヲ不分飛ニ詩ヲ作リ自分勤ヲ稽古セ歌ヲ斬リ候ハヽ
以精神之英気活ニして弛力ニテ莫邪太刀ニ生来
者也戦其ノ如ク今ノ兵ノ士気ニ振舞候ヘハ必勝
右ハ彼ノ使ニ捨ヨリモ甚ニ其様ニ似候ヘハ詩モ我ガ長
ヲ云フ事ニテ慨歎至極ニ存候也

一戎狄攘夷之説ヲ主トシ国家之為ニ議論ニ拘リ
候者ヲ召捕ニ刑戮ニ處シテ攘夷之事ニ
太平ニテ治ル事ニ表有之テ実ニ甚タ候ハ其丈夫有
士卒ニ族モ乙ニ國家ニ顧不思ハ至ル家ニ為ニ身ヲ
無之以テ神力ヲ以テ正気ニ相離レ人之本ニ報

一報ヲ抑ヘ中モ其身ノ元気ヲ制セス斎シク文
武人般ニ遅延ニ多ク法ニ於テ振濫シテ大事出来候

一 古人奉世之時勤者不如存祭之形況末世出止
權之類者也 依之而天下三者之言 無量之神法國法を
業之事以多く之を撰 東照神祖大權現公之御訓論
儀法法之演義 兵道神國之法事之場所正を重く樟之
以祭當道社作祭之事業形作
存之儀之事神法者之法成なり方今形無残此所也
當道至而而后 神祇之事二百五十年 紙黃之所也
地下之御座之下實験其流諸長夫之ヲ行者之處
當時之役人も不知事 都之 大家之思深
沐有之於高騰之所以出於其殿之 弁法所於之親
し君を二百餘之等等者之人之之信之取り知らず所
偏信者之人成人之向後根元出處之上之陪縦手君ヲ

二百餘之等等用ひ祖宗之以供正業を輝之人心之丈以之哉
深く付ても只日夜痛嘆止所也 其隆盛而世之得失を
急書ひて審之証置之ものを時世之根本となる也
之付心中疑く之ことも之天下之奸人之首場
天朝之御所勤之以存道邊之擁夷之時下二十
雲客御方り 左安中法之儒者之志を定而出
下之萬民之御華を救ひ

一 世上之通用法家として當時之安く當道之過分に令
之於之國是を作らん事を偏之其議を
文久十之江戸之於之裁之以爲

文久九月十八日三藩上京ニ付　毛利慶親上

朝廷深ク御憂慮被為在候御趣意茂有之候得者
私共於而茂当今之形勢ニ付未曽有之三藩上京之
仕候儀ニ奉存候　處ニ近来之次第私共之藏ゟ切迫
至り方抽丹誠　於京都ニ而上ニ者第一平穏之
御新内ニ而蒙更其ニ於宗意之儀以五奥搆ニ者堪
震襟ヲ被為悩　忠義之節有之ニ付去ル三条卿以　處ニ有
御取締ニ相成候儀ニ付　此度　勅諚
者御撫育ニ而御沙汰ニ相成候旨　是又　朝廷ゟ被為
憂慮候ニ付　實忠ニ候而　取斗候旨候

相達申候 寒心之所 當月廿三日三藩申合 大坂迄
相促候大樹明常御出張 廣島江移 上
洛之段 御由緒ニ上京仕候而 寒心之至
前件之蒙上候
此度之儀 所詮相模守 雅楽守
一 御前之儀 御沙汰之趣ニ付 内談之 伊藤

一 右御万一之儀ニ付 福田二者 申候

一 此度之儀 遠慮之儀 無之

一 相成候 御儀之儀ニ付 御沙汰之事

一 七年来之儀 候ニ付 長州之御事

一 十余年来之儀ニ付 候儀 御事

一 廣之儀 此御 候儀御事

一 右之儀 其上之儀 當御 延 之儀

更之儀 御付 儀之儀 長門之儀

儀之御國 御事 御國 御事

廣之儀 相成候 上候

九月十五日

毛利宰相
松平長門
吉川監物
毛利甲斐守

一 同日ニ罷出候ニ付言上 毛利讃岐守

終ニ此度手前家来共之内より罷出候三郎ヲ以周旋申上

候処 雄来共ニ[illegible] 決議合ニ相成候ニ付

處置之儀ニ付 朝廷ニ而 御沙汰之趣ニ随ひ [illegible] 之

貴婦 [illegible] 厳重申達候所 [illegible] 存候ニ付

尊王之 [illegible] 候 [illegible] 御座候 [illegible] 仕候

八方之権衡ニ而 御沙汰ニ相拂候 [illegible] 申上

[illegible] 御座候ニ付 其筋へ [illegible] 新葉之趣

[illegible] 上京之 [illegible] 仕候 [illegible] 大坂湊ニ滞留仕居候

天気之所 [illegible] 存候而 [illegible] 候 [illegible] 可然

[illegible] 御沙汰 [illegible] 進上候 [illegible] 御座候

[illegible] 退散被仰付 [illegible] 申上候

[illegible] 何之 [illegible] 儀ニ [illegible] 處置 [illegible] 章 [illegible] 政

難有 [illegible] 思召 [illegible] 仕 [illegible]

御沙汰 [illegible] 之 [illegible] 仕 [illegible]

九月十五日

毛利備後守

同 三之助

同 勘解由

同 彈正

同 河内守

同 石見

同 八郎

同日土井大炊頭宅ニ而上

若年寄

紀伊殿家来薩摩長屋へ書院ニ而上意八十人被遣

同家之儀…

勅書勅答年寄之上一同…

限之…

九月十五日

土佐守

同

山内…

太田書院番…

御…

茂根加賀人紀刻 …堂 …家て …利…

…義之…来…家風…家…来…

…大…忠…職…驕…

…伐…国…

天照皇大神…時…義…職…

…説日本…

日本之人心…風…清…

日本…

…年…来人…来…無礼…

…日本…

…日本…武…根…

…人…日本…人

一 饑饉困窮ニ至ル言を取扱ふ夷人共悦ひ
仰られあるへく此儀之
天子様ハ勿論夷狄共世界之御心を痛め被為在御苦しみ
有之候罪業甚役人にて一角二言ニ大名も二言
年来大軍ニ困窮之事共ニ及ひ候ゆへ申も
此後者ハ極て此雖日本之夷人ニ而
山陰止メ万端兵を挙世界を攘ひ夷人を退ケ
日本之民威を施し
天子様ニ思召を奉安民を安んし給ハん御恩
方今ニ文字書子ニ見られ家を捨て身を投て
国中為以共此御恩之萬民之世界撫還候
いはゝ色添へ盗をせんて新附加り万銭を唱
右方ニ而夷人
当代藩中ニ居候者ハ君臣ニ老中ニ近夷人
国役も為誠ニ人々合点致し知らせ
会議之二事近衛殿大老ニ挑ひ忠臣ニ老中
ますます書生国根之浪士を至ハ
天子様ニ思召を御覧ある人倫ニ関係ニ夷狄ニ威を
攘夷人を退ケ萬民ハ安堵致し日本之様ニ
会津を忘れ無忠義ニ当方之憐哉此儀ニ御嚢
姉小路様ニ於テ未刀藩ニ国中五拾初旬ニ
甚以難被為在 難有
天子様ニ思召ニ萬民之苦しみ知らせ候ニ会候
一 安を世人ニ言は此者世界を有之して何事やら

一天子様思召ニ而ハ以之外ニ 此御ノ字仕替 攘夷被仰出候得共
正議家共笑ニ邪説ト相成ニ不用而已ならす
天勅を軽蔑し 為手ニ一言も返答無之 勅書
天子様ニ従来不届 思召ニ而正義者御崩
離ニ相成其根本御代ニ而お考へ而早○○ 此字ニ有
とニ右様ニ不相済随ニ返ス也 賊ニ尤騒動ニ相成正
人を殺 邪人ハ御日本を夷人ニ而せんニ正
十人を殺せハ必於ニ相成 百人覚悟
日本元来之此無事亡ニ日本ニ而二相成申
出ニ大藩兼而出張教諭致之 同
日本之土地ニ一丈ノ我ニ人ニ而 夷
此代物ニ而我ノ患事秋田相ニ土蔵

右上　御請書

當月朔日之御飛札上京在所見届候處御懇情之程不浅存候
就而御紙面之趣承知仕候然者私儀上京御聞届被下置難有存候
然ル上者可然様ニ取計可申と存候間上京之儀被仰付候
於京師御用之程　御沙汰之上御警衛
朝廷より御沙汰も有之
禁裏御警衛被仰付　御目見被仰付候
御勅使御到着之上相勤候　御用向御沙汰之趣承知仕候
猶又當地ニ而も御用之儀申上候
其御地御様子　御封書之上御書面之趣一同ニ而承知仕候
其外御用向之儀委細承知仕候　上覧之上可然様取計可申候
其儀者當月中旬迄ニ一同相揃候様被仰付候ニ付御請書
被仰上候
一筆御請迄如此御座候

御祝儀として御能被仰付就中
蒙台命候ニ付御参観之御使罷越一条得と承知致候旨申来
天気快晴ニ付御催之儀ニ付而ハ
少将様ニも拝領物御座候 思召ニ而御座候ニ付神妙ニ
親因ニ而一段之事ニ存候 不堪感激候
少将様ニも別而御満悦ニ被為在候 自然
御代々様ニ御忠勤之御趣意御達も有之候ニ付
朝廷之御事務ニも御参与
不一方御達之儀御座候 不容易
節 是等之儀者御一和御忠勤
是等之儀ニ思召
辰七月

此上益御勤向之儀
御忠勤御座候様
一
兼而御承知之御事ニ付
方今之時勢ニ付而ハ
之御事
大事之儀
下候
参議様
東之儀
少将様御事
叡慮
共ニ不容易
之御事
以上

芳徳ニ潤ひ候而ハ四民如化育し終ニ修文隆武
万世不抜之御基本相立候様ニ相成候而ハ一騎当千
之一二星後　公儀之御盛衰ニ拘り候事ニ而ハ是ニ
御座候言ニ而ハ熟味仕候处我等共
御先祖様より家業御恩を受候而ハ何卒御祖
宗之御神慮ニ相叶候事肝要ニ候間此義奉存
仏将様御為ニ而國家之御為ニ御座候而衛勤
被申上候者ニ候へハ御為ニ相成候事ニ御座候勤
王之真意ニ可相成候事ニ御座候文民下奉存候
何とぞ公武之御合体ニ撫恤被為在候様仕度
ご注ニて御成候様奉存候而ハ御依頼候事
頼

一 春公ニハ當八月十五日御帰京之節　於蘇　横濱夷人
拂攘之 詔ヲ下ス 一番ヨ因州公 二番ヨ阿波公 三番ヨ備前公 四番ヨ上杉公
右ニ御當日御参内ニ而勅使二條殿 天子御名代御下向被為在候公等
御之事ニ而御旨被仰出候三条宰相公始其外之公卿等
御之御所御沙汰御取計之御事ニ御座候由ニ而
ハ其御趣意ニ上意之御趣意有之西洋之夷狄
也右之御趣意ニ而御在京之御事ニ而ハ
大樹公御入京ニ當日ニ御参内被仰出候処
一両日之内ニ而御攘夷御決定ニ相成候川御殿山ニ夷人打拂
御達ニ相成當時御見合ニ相成候御手前ニ而御攘夷
御評議ニ而ハ上一ツ拂攘御決定ニ相成候勅使ヲ以江戸御達
ニ相成候ニ付君上ニも御上京御座候様御沙汰ニ相成候

是ハ加賀侯仙台侯ニ而も未タ御上京被為在候由ニ而
其節御上京ニ付御直ニ上京可被成由ニ候得共右之人
御断ニ相成候ニ付而由何分上方騒動ニ付

一 右ニ付而ハ六月廿日御供方亨郎ト申者ニ而御沙汰ニ相成候事
検儀大方先西洋之陣流法伝授被為在日数七ヶ年ニ而上京候事
小率方新ト西洋ニ而御取用ニ付右之者玉薬製造御用ニ
候而上御役席ニ而書附ヲ以テ被仰渡候様ニ而御沙汰ニ付
検儀大方御役席ニ而某御見込之上御用ニ而
此陣屋ニ而御引受ニ而小ニ而本年ト検儀試之御役ニ而
右之者之難有御請申上候様御沙汰ニ相成候事

一 先年ニ而ハ長州ト異船争ニ大ニ騒乱之上薩州ニ而も争ニ薩州ハ
上首尾ニ而是ハ争ニ而も異船ニ而是ハ御手当ニ而
御内異船軍艦ヲ相向ケ候事ニ付

一 君公ニも七月十六日御立ニ而御上京被為在候而右御手当ニ付而ハ
三十日計リ御逗留之上御帰リ被遊候ニ付児玉亨郎太郎物也被仰付御手当ニ
年々嫡子ニ而児玉君とし一統御手当ニ而被仰付候ニ付亨郎元御役席ニ而
御手当ニ而ハ児玉君とし一統御判決也

一 当七月ヨリ児嶋郡下津井村元小串村両村ニ西洋大砲ノ御台場切
出来然ルニハ大拵成就右之者共も右之玉薬製造且京師ト登シ作
玉薬製造ニテ才子中日ニ御城内御櫓ニ出入之語家

一 当八月十八日ニハ京師今出川御門前ニ長州公御請ノ件ニ付公家
薩州ト入京ニ付候又同ニ至テハ大諠譁出来両方ヨリ御門ノ内外ヨリ
大砲ヲ引出シ打合ハ於御所大騒動諸家公武ハ申ニ不及何レモ是足

ナドニテ御条内禁裏一端ニ[illegible]大事ニ[illegible]難計由申候
然ニ治部少輔使者ハ土佐守[illegible]甲斐両人[illegible]一段大
事統儀ニ上意ニ付[illegible]様ト自分ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]上京[illegible]
直ニ上京[illegible]
国[illegible]十八日[illegible]陣[illegible]
一段も一条様ハ陣屋として一段[illegible]一条様[illegible]
治部少輔休息[illegible]由也[illegible]下ニ見エ

一 [illegible]大[illegible]
[illegible]一[illegible]
[illegible]大[illegible]上[illegible]
大事[illegible]大金[illegible]
[illegible]上[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一

一當所ハ京都ニテハ掌上ノ者ニ而御家ニ關係近キ方ニ而御座候テ
ナクテハナラヌ様ニ付

長州闘争記談

文久三年癸亥四月攘夷ノ期限五月十日ト既ニ列藩ヘ布達有之
此日長州藩ハ太ニ虎門赤間ケ浦ニ於テ暮下毛利能登ヲ惣督トシテ海防ノ段
治定セシメ其ノ右同所ハ長府城主毛利左京亮殿領地ナル故ニ同家ノ人数
好テ先鋒タリ爰ニ一組長藩久坂玄瑞ヲ始メ時山直八山縣小介猶原
八十祖吉田栄太郎入江九一野村和作赤根幹之丞等其外年来赤心
報国之志士凡五六十人アリ其中ニハ諸藩之脱士皆節ニ一節ノ義士
加ル此組別ニ一致シテ同所保雷江ナル光明寺ヲ宿陣トス已ニモ親友八
人ト共ニ此内ニ加ル然ルニ五月十日ノ晩未ノ下刻東ヨリ夷船一艘下リ来ル
二付長府ノ早炮ヲ聞テ各出張仕光明寺人数一番タリ此人数六十人ヲ
三手ニ分テ一手ハ同所甲山ノ臺場ヘ出張一手ハ亀山ノ臺場ヘ固メ今一手ハ
遊軍トシテ甲山ノ下ニ備タリ亦一手檀ノ浦ニ残ル其後新三郎ヲ始メ外ニ浪士船ニ乗込
太田一之進須藤楮之進九一郎吉田庄蔵ニ至ル迄浪士ニ合外ニ浪士高杉紀四郎
中島連等竹片其余勇士七八人アリ皆一騎當千ノ壮士也是ハ檀ノ浦ヘ出ル八十斤
六十斤ノ大炮二挺未臺場ヘ不据ヲ磯ノ砂ノ上ヘ直シ玉込ヲナシテ待懸タリ已ニ
故有テ亀山臺場ヘ出ル大炮用意ノ手傳ヲナシ待懸タリ此内亦軍艦一
艘下リ来ル夷船ナルヘシト思ヒ野村和作思慮シテ曰我庚申丸兵庫ヨリ

下リシニヤアラン其心スヘシト之故ニ斥候船ヲ出メ見セヒケルニ果ニテ怒リ夷艦ハ夜
酉ノ中刻ヲ過テ當臺前田ノ浦沖ニ繋リテ未タ来ラス庚申丸モ櫓ノ浦沖ニ
一ニテ様子ヲ伺フ此時亀山臺場ニ於テ時山直八ヲ始メ各議曰今夜爰ニ空ク
待請タリトテ彼様子ヲ論リテ引取ナハ大ニ不覚ナルヘシイサ小船ニ乗テ先ツ
櫓ノ浦ヒ至リ久坂吉田ヲ始メ各一ツニナリ進退ヲ定ヘシト衆議決シテ則チ
小船ニテ乗出シ陸地ヨリ二人馳テ此由久坂ニ通ス二人舟ニ帰リテ久坂ハ已ニ
先達而庚申丸ニ乗込タリト云右臺場ニモ相応ニ人数ハ不可動遊軍ノ人
而モ船ニ可来旨頼置タリト其科速ク西リ方隋分良将ノ任アル人ニ此時
小船ノ中ニモ又評論発リ大炮ヲ搏モノハ上陸ニテ臺場ヒ可出ヤ先鋒ヲ心ニ貪
タレハ此侭舟ニテ押寄ヘキヤト評議区々ナリ獨山縣小介兎モ角モ庚申丸ニ
乗込進退可決空論無用ナリト云野村モ已ニモ是ニ怒リトシテ遂ニ一決シ直ニ
庚申丸ニ乗込タル処未夷艦ハ田ノ浦ノ沖ニテ碇ヲ不揚久坂ハ其已前船持
松嶋剛蔵トヨテ夷艦ヲ庚申丸ニテ搏ニヿヲ決ス然レトモ風潮意ノ如クナラズシテ
進ムヿ遅ヒタリ已レ野村和作ト計曰我今此艦ニ乗込時夷艦ニ乱入センヿノカ
タキヲ論ル賊船高船ト聞ハ炮門ヲ極テ少ク今七八人心ヲ合セ必死ヲ極メテ乗来
ル処ノ軽船ニテ帽ニ乗シ夷艦ニ乱入セン安カルヘシト野村然ルヘシト云久坂
側ヨリ是ヲ聞否ニ不然今名小船ニテ此下ニ乗寄タル時上ヨリ差ケヘルニテ
搏立サハ危キヿ譬ニモノナシト思ヘリ中々賊舟ニ擲入不可遂止ルヘシト大ニ

制止シヤカテ庚申丸夷艦ニ近付二十斤二十四斤
碇ヲ刃切テ船ヲ出ス此時又東ヨリ軍艦一艘下リ来ル我炮聲ニ応シテ大
炮三発搏出ス夷艦ヨト思ヒシ処月影ニテ近寄見レハ是モ長州癸亥丸
兵庫ヨリ回ノ帰リ来ルニ故ニ時山直八ハツテーラヲ下シテ櫓舟テ様子ヲ告ル
夫ヨリ梶ヲ轉シテ同ク夷艦ヲ搏最初三発ハ彼船ヲ庚申丸ヨリ誤テ搏ニ
ヿヲ恐レテ読発セシニ夷艦ハ益驚ヲシニヤ蒸氣真黒ニ揚テ東ヲサシテ
逃出ス追ヤケント議スレ𪜈風潮意ノ如クナラズ帽サハクラシ切歯シテ止タリ
程ナク夜モ明テ海水蒼々タリ

是ハアメリカ船横濱ヨリ長崎ヘ下リシ商舟ナルヿ
庚申丸ヘ乗込シ時知リタリ

右庚申丸ヨリ搏処ノ大炮二発搏當タリ癸亥丸ヨリ一発搏當タツ
皆徹スル音聞ヘタリサレ𪜈商船ナカラ鉄包ナル故釜ヲ搏砕カサレハ彼
難ナク逃延タリトハ覚エ

此時幕下邸因循ノ指図便番ヲ以テ申談且自分ハ出張セサル故本
藩ヘ依頼之由成其答有之由其男近太郎之ニ代リテ出張ナリ
同月廿二日夷艦一艘下リ来ル各持切ヒ出張彼是明寺組ハ未ヲ請タル
臺場モナク遊軍ノ形ナル故此時モ多クハ癸亥丸庚申丸ヱ乗込タリ
已レモ癸亥丸ヲ志シ軽舟ニテ乗出セシニ甚タ小キ舟ニ七八人乗込タル故浪モ

高シ誠ニ危ク見ヘシ故直ニ引返シ亀山ヨリ軽舟ニテ乗出セシニハヤ夷艦ニ近寄癸亥丸ヨリ打出ス銃弾目ノ中ニ飛ヒ来レハ十ニ癸亥丸ニ近寄難ク無拠亀山台場ヘ上テ大砲摶ケリ夷艦ヨリハ三発程発炮シテ辛リシテ西ヲサシテ逃行タリ此時庚申丸癸亥丸順風ニ帆ヲ揚テ追懸タレ𪜈下ノ瀬戸口ニ至ル時夷艦ハ二三里モ逃延タリ其神速可知也無拠二艘共潮ニ付テ引返ス此時彼狼狽ニテ落処ノハツテーラ一艘癸亥丸ニ取リ揚タリ此度モ余程損セシニヤ逃ヽ破損ノ船枝流レ来ル

右此処ヨリ摶処ノ大炮都合五発打當タリ是則フランス船ナリ

同月廿六日拂暁蘭船一艘上ヨリ来右持切ヘ出處此度ハ前田ノ臺場出来ニ付光明寺ノ組不残此処ヲ固メタリ此等已レハ親友六人ト小倉ヘ孫祢有テ大里近渡リシガ折節号炮ヲ聞テ急ニ小舟ニ乗替押切テ帰リタレ𪜈彼カ蒸気ノ速ナルニ不可及故ニ夷艦ノ前ヲ横切テ退抜白石ノ上ヨリ上陸シ息絶ル斗ニ駆テ亀山臺場ニ至リシニ夷艦ハ既ニ上ノ洲戸口ヲ出テ三里不足モ逃行タリ已レ上陸セシ時ハ未タ亀山ノ下ニテ炮発セシガ已ト亀山迄二十四五丁息ヲ限リニ駆タリシニ如斯ナルヿ蒸気ノ速ナルヿ実ニ驚ク計リ也

右戎摶処ノ発炮所ニ臺場亦二艘ノ軍艦ヨリ摶処ノ銃弾七ツ摶当タリ中ニモ[illegible]破烈ニテ炮ド打込[illegible]

即死四人有之由奉行迄申出シレトゾ

六月朔日巳ノ刻過佛船一艘下リ来ル然ル処今朝長門守殿壬戌丸ニ乗込佛帰城ニ付テ右白石迄佛見送リニ御出ノ処上方ノ風聞違テ佛ニ孫祢ノヿ有之思ノ外佛客船ノ佛待久ニテ既ニ佛客船ニ乗ヘ夷賊来ニ故一先佛上陸ニ相成右抔物ヘヽ江出張ス前田其臺場ヘハ二里斗有之故中ヽ急ヘ帰ルヿ不能ハヤ夷船ハ亀山ノ下ヘ来リ我軍艦二艘ノ間ヘ押入頻ニ大炮散発ス已レモ是非ナク前田通帰ニト息ヲ限ニ駆タレ𪜈此様子ヲ見テ直ニ永福寺臺場ニ駆至リ頻ニ大炮摶カケタレ𪜈臺場度ニ過テ高ク後ニ捉ノ僅ナル故心ニ不達サレド二挺ノ筒ニテ七八発打ノ梶トモ一ツ摶当タリ彼ハ静リ返テ我壬戌丸ヲ追カケ十二発迄摶出シ七発迄打当タリ又庚申丸ニモ数弾打当高引取揚ニ二発一度ニ打当タル弾水際ヨリ底ヲ打抜タリ是則百五十斤破裂弾ノ栓ヲ以テ覆ヘ𪜈不及帆ヲ烈キテ是ヲ差キサセトモ不及高蒲團ヲ以包メ𪜈防クヿ不能実ニ不得止始末也終ニ夷船引取タル後断ヽニ沈没ス

然レ𪜈我方ヨリ打処ノ炮弾二十発迄ハ当タレ𪜈彼ハ海軍剽レ且鉄包ノ堅船固キヿ不可計残念至極トえヘシ

以上

但大炮ハ堅城ヲ砕キ堅船ヲ砕クニハ甚ダ利神ノ如シ乍然敵ヲ頻ニ我隊伍ヲ撃
トイヘハ中ル人多ク不損モノ也彼近来専ラ用ルゲヘール杯モ戦場ニテ撃時
ハ中リタダモノ也朔日ノ戦ニハ纔一町程ノ間合テ我舟中大銃五組ヲ頻ニ
目サシ撃ケレ圧其玉ヲ請タル者ナシ亦毒烟ヲ吹出シタレ圧唯自然ニ風ニ向ヒ
来ル而已我神力ノ人ニハ害ナシト覚タリ何分勇氣盛ニシテ一歩モ
我ノ為ニ不退ナハ火ノ中ニ立テモ危キコトナシ運尽レナハ是非不及鬼モ角モ
我頼ム処ハ大和魂

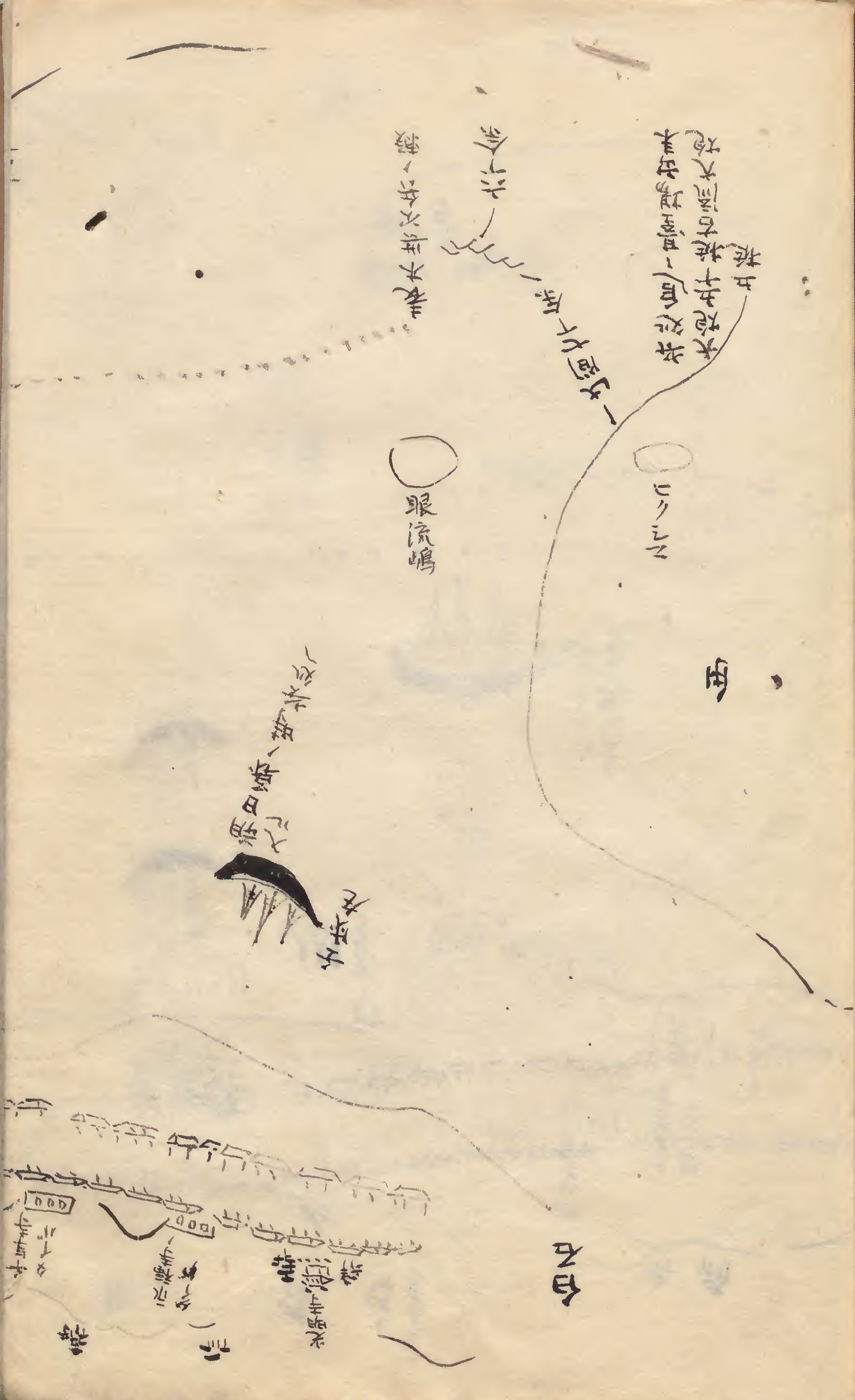
右朔日ノ戦ノ時庚申丸ノ将ニ吉田　ト云者アリ接戦中始終カニ手ヲ掛テ
號令ヲ傳ヘ励シ尚自ラ大砲ニ火指ヲナス時敵ノ炮弾ノ破レテ頭上ニ落
後ト仰向ニタオレタレ圧直ニ立起テ又火ヲ指タリトゾ其ノ勇ト云盛ナルコト知ヘ
シ

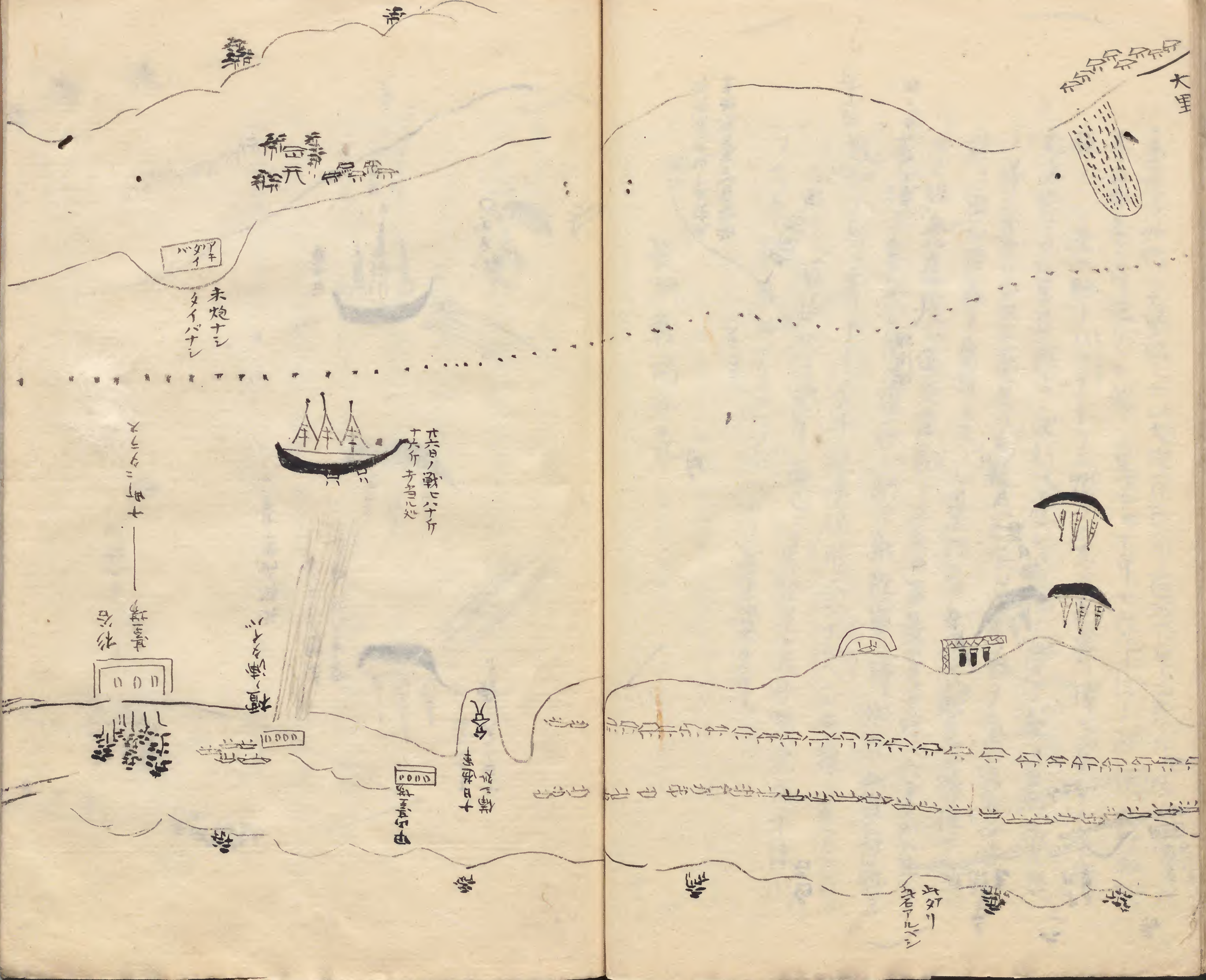
彼カ堅船ヲ砕クニハ百斤百五十斤二百斤位ニ非ンハ全勝ナシ右ライフルカノン右炮
炮戦ニハ甲冑無益ニトテ当時不用人多シ乍然巳レハ始終カ具足ノ上ニ腹当而巳
掛テ居タリ又此ハ[illegible]
然弾ガ掛タルナル浦士騎中連隊ヲ破ル然モ小弾ヲ受タレ圧金胴ヲ着タル故
怪我ナシトベリテ胸ニカヨリ胸板ハサシ手サ薄ナル故ヲ砕キテ少シ疵ヲ蒙リ
タレ圧不日ニシテ愈タリサレバ着具モ用ヒタルニハシカズ巳レハ炮弾ヲ防クコト思
ヒモヨラズ味方ノ鎗剱ニ疵付タルヘヲ思テ也然ルニ中野ノコヲ聞テ弁発明セリ
其ハ用不用利不利ヲ云而已尚予論ヲ語ルナハイカヽ便利ナリトテ中ニハ夷
狄ノ如ク筒袖ニメ小ハセヲ穿ツ褌ノニモ不有大口ニモアラサル昔ノフトコロノ如キ
モノヲ着シテ戦場ニ出ルモノアリ心ナキコトニ非スヤ乍然袖ハ少シキ方便利
ヨシ且其ハ布ニ限リタリ是ヲ二重ニシテ袖ハ常ヨリ少シ細クシテ口ニ直
垂ノ如クヲ手緒ニテ露ヲトリシボリタルハ便利甚ヨク且筒袖ニ異ナリ
袴ハ直垂級至極ヨク如此スレハ大和人ノ名分タチテ宜ナリト存如此付ク
文明寺ノ組ニハ皆赤出立也サレ圧甲冑ハ何レモ不用巳レ独上ノ如リ出
立アリ或ハ腰当ハ足帯レテアレヽ杯イヘ圧何ノ障モナシ彼是論スルハ
皆我等論ナリ右甲冑大高制衣ニシクモノナシ麻ノ肌着ヲ用ルナハ雨ニ濡シ
テモ早クカワキアセニシメヽリテモ洗テ便利也是亦羽二重杯用ルハ一度ニテ
損ズコト且右ノ如ク布ニテ仕立用ルトキハ直一垂ノ如ク見ヘテ至極ヨシ

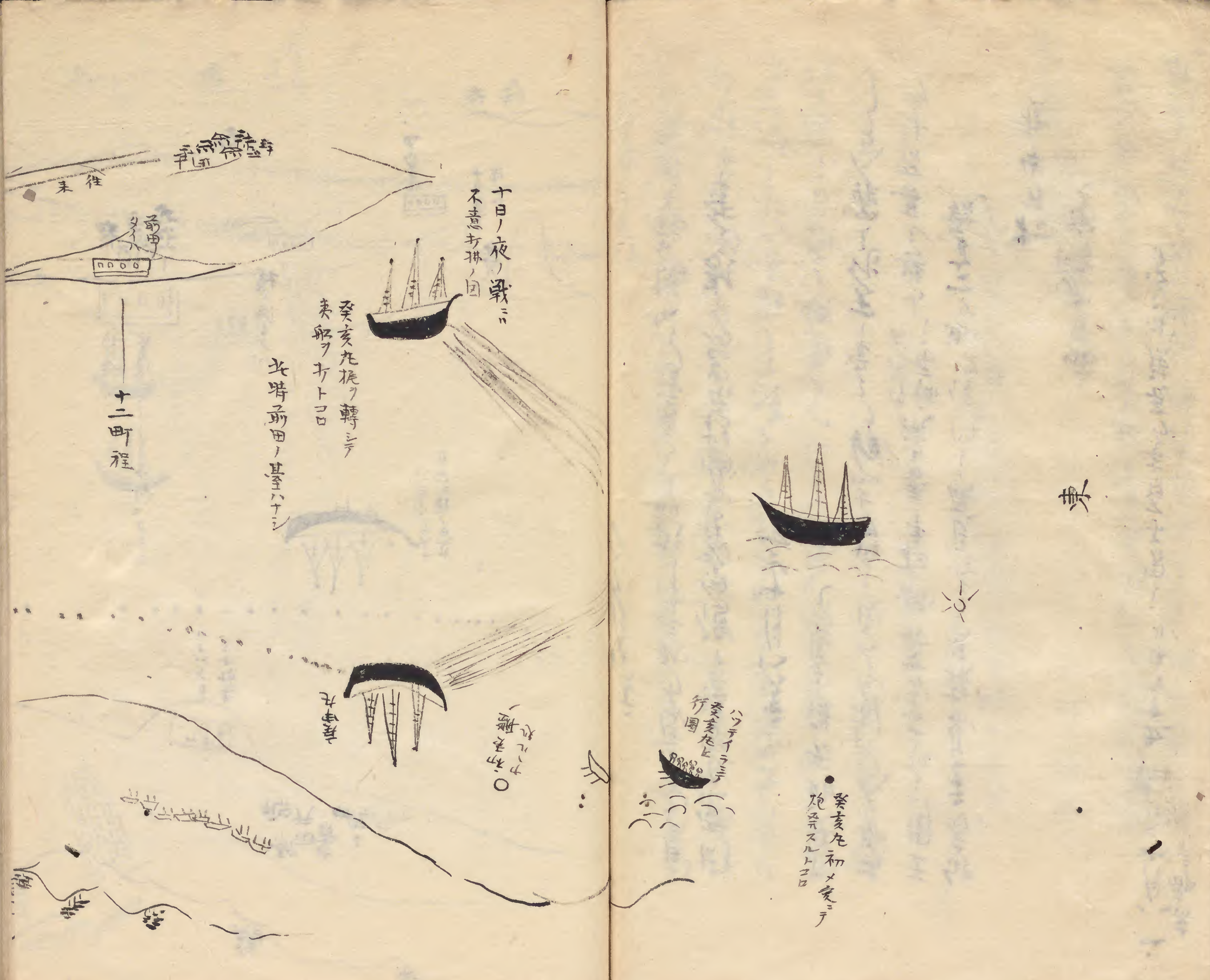
海岸ノ備築ハ先哲ノ高論種ニアリテ巳ニ尽セリ但シ実地ヲフミテ
愚ニモ心付タルハ記置也赤目ノ浦ノ如キ要害嶮ナル処ニテ上下ノ瀬戸口

ニ臺場ヲ如何ニモ堅固ニナシ大炮百五十斤二百斤位ノ筒ヲ双
方ニ筋違ニ百挺ツヽモ備ヘ其ハ中ニ十斤十六斤位ノ軽便ノ野戦炮
備フヘシ是ハ賊ノハツテーラニ炮ヲ乗テ近寄搏ヲ逆キナスニ便シ
又海岸ヨリ一里位離レテ地利ニ應シ堅固ノ砦ヲ築キ是ニモ大炮
ノ備ヘ置ニハシカス尤是ハ人数ノ足场トシテ戦ノ氣ヲ見テ四方ニ人
数ヲ出シ陸戦ノ應援トスヘシ臺場二ケ処アレハ此砦二ケ所位アルヘシ
臺場無ニ應援シ遊兵陸戦ノ正兵モ其最寄ニ備ヘスンハ早ク
臺場ヲ奪ルヘシ彼ハ炮戦ニ馴テ艇縦横ニ搏廻レハ此方守戦尤
敵地ノ利ニ寄テ手分手配手組所要ナルヘシ兵粮ハ吏ニモ能心
ヲ用ヘシ　摂海杯ニ海岸ノ而已ニ臺場アレ𪜈千馬辺亦木津川
ノ土手接戦場ナリシハアルヘカラズト覚タリ

長州戦図如左




大里
アキダイバ
未炮ナシ
タイバナレ
六日ノ戦ヒハナケ
十六ケ キヨル処
此アタリ
岩石アルベシ


十日ノ夜ノ戦ニ不意ヲ撃ノ図
癸亥丸梶ヲ轉シテ来船ヲ打トコロ
北岸前田ノ臺ハナシ
十二町程
前田ダイバ
往来
庚申丸
○初テ乗艦ノカルノ丸
ハテイラニテ癸亥丸ヘ行図
癸亥丸初メ爰ニテ砲発スルトコロ
東

京都ニテ
一八月廿三日朝五十才斗リノ男子首壱ツ并張紙ノ写

西本願寺用人
松井中務

此者主上ヲ蔑ニシ先ニ民衡ノ門徒ヲ助ケ一二ヶ叛
王国ニ私布ル女姦賊松平春嶽熱布ニ阿波守ト共ニ其身ヲ計ヲ
右助人ヲ剥シ人民ノ血ヲ吸ヒズボリ年天俗ノ罪人ナリ
血吏如天誅ヲ加ルもの也

亥八月十三日

同党下官清鳩ノ居湯本桧原罪ニ懲シ
皇国ノ民力ヲ搾リ取リ所世ノ者等ヲ加誅戮もの也

亥八月十

松平相模守

此者窮ニ二条ヲ及幕吏ニ通シ姦ヲ成シ帝ヲ欺キ聖挙ヲ
妨ケ且ツ幕威ヲ挽回ヲ謀リ奸計ヲ働キ朱神人共ニ
不許大罪速ニ可加天誅ノ処頭ヲ垂テ謝罪ニ就シ移封可死
一等ヲ減シ其首級ヲ取ケルトいへとも速賊ノ悪名千歳ニ不朽
伝ふるもの也

亥八月十七日

一八月廿一日朝京師祇園社仁王門柱ニ張紙ノ写

松平肥後守 容保会津

此者陋頑愚不知尊奉推戴之大義矣欲恣凶暴
懲力微不能遂素志近者頼逆賊薩之大刀薩奉

、要朝廷暴威不知其實爲薩人所售愚
亦甚矣神人共怒必可加天誅以是天下之
大刑者也

亥八月廿一日　　　義勇軍士

八月十八日京都騒動之荒増左之通り

一 朝七ツ時頃於御所寺町御門ニ而事有鉄炮を打候ニ付
火付候由ニ付此辺ニ而者取払候得ハ会津之人数甲冑ヲ帯シ
六七千斗御所之近辺ヲ固メ候由今出川御門ニ而ハ通之者ハ左右
杉木探索ニ而差遣候其外者何者ニ而ハ不知
まて隠之市中ニも往還候處堺町御門ニ而ハ長州と薩州ト双方
箇紙ヲ向ケ今ニも打もへく思ひ誠ニ恐しく[illegible]
然ル處上仕又ハ堺町御門ニ而[illegible]上様[illegible]被仰付
在之月御役ニ而大名国州[illegible]
之田[illegible]人数[illegible]仙台[illegible]
[illegible]何ニも異[illegible]
[illegible]鉄炮[illegible]
[illegible]人数[illegible]
大佛ニ御陣御[illegible]三条殿[illegible]錦
小路殿澤殿正親町殿四条殿[illegible]大佛ニ
[illegible]御所[illegible]又ハ長州
御所ニ押寄[illegible]
[illegible]一条殿[illegible]
[illegible]御所ヘ[illegible]人数
[illegible]御上ハ[illegible]

我等ニ而者越後ノ信玄方へ[illegible]ニ而[illegible]十七歳ニ而[illegible]
法信同年十才程ニ而候[illegible]陣所[illegible]
先ツ[illegible]ヲ以テ[illegible]御前へかけ[illegible]
申松平[illegible]二才[illegible]人ニ[illegible]
[illegible]ニ法ニ付候[illegible]可有之[illegible]
明ニ而[illegible]御上ハ御参[illegible]一年数
[illegible]出陣ニ[illegible]一年数[illegible]陣ハ[illegible]
[illegible]
魔小魔法[illegible]軍師[illegible]
法[illegible]甲[illegible]
刑[illegible]探索[illegible]

御所ヲ以テ[illegible]甲州[illegible]
[illegible]大将ト参リ[illegible]長州ハ大将陣中ニ而
無勢[illegible]十九[illegible]無勢[illegible]
一 扨して[illegible]信長[illegible]法[illegible]
[illegible]
[illegible]御上ハ一年[illegible]人
[illegible]
[illegible]
仕合
[illegible]
御探索之法方

去十七日夜因州様御屋敷若年寄ニ而御家来ニ而
四人奸賊ニ与シ候ニ付朝敵ト同様ニ付御屋敷ヘ切入四人ヲ打
浪士共ニ欲ス因州様ニ付御屋敷
首ヲ打堺町御門ニ而晒シ置候ニ付堺町御門ハ長州
之人数固メ居候ニ付会津様
其方会津様ニ付候 御所ヘ参リ浪士共ノ事ニ付
三人御預ケ長州兼テ三条様ノ御入易奉願
浪士一手ニ而長州ト会津ト堺町御門ニ而長州
ニテ御所ヘ参リ候 長州ハ堺町
長州ト申ハ長州ト会津ト候
由承リ候 其上長州三人程ハ

おゝしてゝ御所へ参リ候ニ付 一勢
かこひ薩摩之人数ニ而御所ヘ参リ
其後長州ハ甲冑ニ而長州勢
長州藩人奸ヲ四門ヘ一同ニ付候
三条様ヘ申上候ニ付会津ト薩摩ト
一 三条ハ中立売御門ニ而長州勢
中立売御門ヘ長州ト申候 一同世間ヲ
見届ス長州ト申候 長州御門上移リ四方
大砲ニ而長州ヘ打候 御所ヘ参リ候由 長州
浪士陣一手ニ而長州ヲ打 長州勢
加賀藩ニ人数 陣ニ而 人数 ニ而
長州 浪士三人 長州 御所

中ノ将以目録申上候、御請被仰出候處

四日之金子ハ、宰相中将殿上下之者共ニ被下候

處被仰出候、其節御目見之後、御一同ニ被為揃、拝領仕候

十日ニ至り、金子三百疋、并ニ此分ハ、依之

十八日ニ至り、首尾好、御礼ニ罷出候、左様ニ相心得

候間、猶又、御所方へ申上、拝領物御一統、御座候

事不安ニ付、申上候事

一　八月廿六日、君公御参内、御対顔被仰付、御列席ニ
付、両人御引続之事

右十一日信君御迎参内

林右衛門守

歳感使依之、御礼被遊

御来儀ニ付、御給金賜之、上兵士共ニ至迄、拝領

四月二日、御礼被仰付、一統御満悦

御目録

金七百疋

一　八月御参内之節、御太刀献上之事

八月御参内、信君御参内、御参朝、御礼、信君御迎、大津まで

御進ニ付、御参内御座候

新穀之御太刀、大臣殿、半官、右大将殿、御列座

御直命之御礼、右大臣殿

雲居御参内之節、左大臣殿、御上段

且於小御所、御会之節、御下段御列席ニ而御通り

信君御勝手、當日御参内、御物御拝領之事

一 九月廿八日御書付を以 仰渡候

方今之形勢海防之儀者要務ニ付而者厳備之儀御沙汰有之

一通り之儀ニ而者不容易候砲術之儀者兼而被 仰付

候得共要地ヲ見立砲臺築造厳密ニ防禦

之術相立候様一方ならす不容易厳重被仰付候儀ニ

而者一段指揮且文武之儀可心掛ニ至る迄陥して

帰御沙汰之事

右之通御渡之上ハ兼而被仰出候趣ニ可相心得候

国立公文書館
National Archives of Japan